

Atsuko Kudo Mail Magazine 213

2015.06.12 Japan, China, Taiwan



主に歌え。御名をほめたたえよ。日から日へと、
御救いの良い知らせを告げよ。

主の栄光を国々の中で語り告げよ。その奇しいわざを、すべての国々の民の中で。(詩篇 96:2.3)

お元気でいらっしゃいますか？

6月4日、無事にハンブルクに戻りました。6月の北ドイツは白夜の季節。到着時間は夕方でしたが、青空が広がり、緑とロードデンドロン（しゃくなげ）に囲まれた我が家に着いた時には、旅の疲れも吹き飛ばす思いでした。しかし、こちらは、5月はかなりの悪天候だったそうです。寒い雨の日が続き、竜巻のような風が吹き荒れ、家の近くの木が、根こそぎ倒されていました。

4月～5月の日本、中国、台湾での奉仕のためにお祈りくださり、本当にありがとうございました！今シーズンは、活動が始まる前から、主に仕えるために、「聖霊の力」、「神の愛」、「喜んで仕える霊」、「信

仰」、「へりくだりの心」を、毎日、神に祈り求めて来ました。そして、求める者には豊かに与えてくださる素晴らしい主の恵みを体験しました。スタッフが、「あの忙しさの中、篤子さん、異常なほど元気だった。」と言うくらい、最後まで体力も声も守られました。背後で捧げてくださった皆さんの祈りの支えがあったことをひしひしと感じました。心からのお礼を申し上げます！

以下、今季の活動を、少し長くなってしましますが、ご報告いたします。

●札幌賛美セミナー（4月25日、札幌聖書キリスト教会）

札幌と札幌近郊の各教会から20名の方々が参加されました。内容は、2013年に行った第一回目のセミナーとほぼ同じですが、この2年間、私自身さらに主から学ばされて来た事柄を付加しました。また、公開レッスンでは、関西のピアニスト野田常喜さんに「主われを愛す」を、ロック、ゴスペル、ブルース、ポップ、ボサノバなどのスタイルで演奏してもらい、リズムを中心とした伴奏と、歌詞を表現する伴奏の違いを解説してもらったDVDを皆さんに見ていただきました。この内容は、今年秋に予定している大阪での賛美セミナーでは、DVDではなく、野田さんに生演奏と解説をしていただく時間を持つ予定でいます。



今回の賛美セミナーで嬉しかったことは、25歳のベンジャミンさんとの出会いでした。彼は、19歳から音楽セミナーをしてきたそうです。ベンジャミンさんは、私がどのようなセミナーをするのか知らずに参加されました。ところが、参加してみて、まるで彼のセミナーを盗んだのではないかと思うような内容だったので、大変驚いたそうです。

私のセミナーは、「主に喜ばれる賛美を求めて」と題し、1. 賛美・礼拝の意味（詩篇より） 2. 悔い改めを通して捧げる賛美（詩篇より） 3. ビート音楽とその影響 4. 音楽と聖書について。この内容は、2年間の準備と祈りを通して主から与えられたものでした。主のみこころと確信しつつも、日本ではまだあまり語られていない内容であるため、孤軍奮闘と思えることが多々ありました。しかし、ひとりではありませんでした。ベンジャミンさんがすでに「主に喜ばれる音楽」のテーマで類似した内容のセミナーをして来られたことを知り、大いに励まされました。

●崇一堂10周年記念聖会（4月30日～5月3日）



「崇一堂」（チョンイー・チャーチ）は、1866年から始まった OMF（旧チャイナ・インランド・ミッション）の宣教の働きにより、1902年に杭州に建てられた教会です。しかし、1949年の政権交代で、敷地の半分は鉄道会社、もう半分は高架建設会社に渡り、崇一堂は消滅しました。

しかし、崇一堂復興祈願の祈りは、教会が無くなったときから、文化大革命の迫害の時も、絶えず杭州の聖徒たちによって積まれてきました。そして「崇一堂」は、2005年5月5日、ついに中国最大の教会（7000席）となって復活したのでした。

10周年記念聖会には、毎日一万人以上の参加者がありました。4日間の聖会では、国内外からのゲストスピーカーを始め、十数名の先生方がメッセージをされました。私も、いくつかのプログラムで賛美奉仕をさせていただきました。崇一堂での賛美奉仕はこれで4回目ですが、今回初めて、すべて中国語で賛美しました。話せない言葉の歌を何曲も準備するのはほんとうに大変でしたが、皆さんとても喜んでくださり、曲の合間に、何度も拍手が沸き上がりました。決して人の称賛を求めてはいま

せんが、皆さんが私の中国語の賛美を喜んでくださっていること、思いをひとつにして主を見上げていることが、拍手を通して伝わってきました。

また、教会の賛美チーム・聖歌隊の指導、レッスンなどもさせていただきました。崇一堂には4つの賛美チーム、聖歌隊があり、400人以上の会員が賛美奉仕に加わっています。レッスンでは、ちょっとしたアドバイスを、皆さんどんどん上手になって行くので、指導する私も大変驚きました。主にもっと素晴らしい賛美をささげたいという純粋な熱意から来るものだと思います。（写真＊賛美チームの皆さんと）



中国は人口の約一割がクリスチャンです。しかし、近年国内での異端の動きが活発化し、多くの中国人が惑わされて異端団体に入っているそうです。どうぞ、主が中国の教会を守り導いてくださり、異端の動きを打ち砕いてくださいますようお祈りください。

●台湾ツアー（5月11日～18日）

今回は、台湾南部の高雄市、台南市、嘉義市、雲林県虎尾の六つの台湾長老派の教会でコンサートをさせていただきました。今回のツアーの目的のひとつは、嘉義市郊外の長屋の一角を借りて礼拝を守ってきた橋頭教会の、新会堂を建てるためのチャリティーでした。チャリティーで集まった献金額は、建築費のほんの一部にしかありませんが、各教会でこれからも祈りと献金を続けて行くとのことでした。どうぞ、主が橋頭教会献堂のための必要を満たしてくださいませようお祈りください。（写真＊現在の橋頭教会の入り口）



台湾では、コンサート後、時々、救いや癒しを求めておられる方々が話しかけてくれました。一人の方は主を信じますと告白し、ある方は悔い改めに導かれ、別の方は、祈りを通して主から霊的解放、癒しを受けられました。

日本に多くの神社仏閣が建てられているように、台湾ではいたるところに道教の寺院が建てられています。嘉義県、雲林県では、特に多くの道教寺院が建てられており、霊的圧迫を感じました。日本で因習が強い土地ほど伝道が難しいように、こちらでも道教の寺院が多い地区での福音宣教は困難なようです。しかしイエス様こそ「王の王」、「主の主」であられるお方です。神の戦士たち、祈りの戦士たちが霊的戦いに勝利しながら、この地で福音宣教が前進して行くことを心から願っています。そのためにも、一日も早く橋頭教会が建てられ、主が暗い地域にキリストの光を輝かす灯台としてくださいますように！

●折尾クリスチャン・チャーチ（5月23日、24日）



北九州市の折尾クリスチャン・チャーチは今年で80周年を迎えました。今回は、その記念のコンサートでした。コンサートには、AKWMメルマガ受信者の皆さんが知人友人にお知らせくださったおかげで、小さな会堂に、合わせて67人の方々が集まってくださいました。私自身の賛美もトークも聖霊が溢れるように導いてくださったのを感じ、また聞いてくださった皆さんも、同じように感じられたようでした。礼拝出席者は12～20名の小さな群れですが、80年間主が愛し守ってくださった大切な教会です。主がこの教会を祝し、地域の伝道のために用

いてくださいますようにと心から祈っています。

●インマヌエル聖宣神学院キリスト教会（5月31日）

聖宣神学院教会のコンサート奉仕に7年ぶりにお招きいただきました。そこで7年前のコンサートで初めて教会に来られた男性に再会しました。明確な信仰には至っていませんが、7年前のコンサートを機に、続けて礼拝に出席して来られたとのこと。しばらくお話した後、教会の牧師先生と一緒に、「確かな信仰に導いてください」と祈らせていただきました。

コンサート後、教会の方々がさまざまなコメントをくださいました。

「『誰がイエス様を十字架にかけたと思いますか』という問いに、頭ではわかっていたが、改めて自分の罪が、イエス様を十字架に付けたのだと思った」。

「工藤さんが一時間ぐらいボーっと見ていたという、人の罪を十字架上のイエスの体に描いた絵を、私も見てみたい。」(注*フランス、コルマルのウンターリンデン美術館にある、マティアス・グリューネヴァルトのイーゼンハイムの祭壇画のこと)。

「『合唱部に入ってみない?』と誘った、高校時代の友人のことが心に残った。その友人がいなければ、工藤さんは歌手になっていなかったんですね。それまで歌が上手でも声が良かったわけでもないのが、急に声が出るようになったのは、神の賜物だからですね。神様が、主に賛美をささげるために与えてくださったんですね」。そのコメントを聞いて、私も、改めてそうなんだと思いました。

賜物とは神に仕え、互いに仕え合うために与えられるもの。決して自分から出たものではないのです。神は、罪に溺れたどうしようもない者を、身代わりに十字架にかかって救い出し、何のとりえのない者に賜物を与えて賛美する者としてくださいました。主に仕え続けるために、いつもこの原点に立っていなければと思われています。

この世の取るに足りない者や見下されている者を、神は選ばれました。すなわち、有るものをない者のようにするため、無に等しいものを選ばれたのです。(Iコリント 1:28)

~~~~~

## ●お祈りください

6月26日～7月9日の西海岸での奉仕のためにお祈りください。出発まであと2週間。主がこの者の霊肉を整えてくださいますように、すべての準備を祈りながら進めることができますように、主が西海岸在住の日系人を救いに導いてくださいますように、西海岸のクリチャン、教会を聖め祝福し、聖霊の力によって宣教の働きを前進させてくださいますように。予定は以下の通りです。

6月28日(日) West LA Holiness Church 賛美コンサート 14:30～

6月30日(火)～7月3日(金) 北米ホーリネス夏季修養会にて賛美奉仕、賛美コンサート、賛美セミナー

7月5日(日) サンロレンゾ・キリスト教会 賛美コンサート(北加日語クリスチャン委員会主催) 14:30～

主イエス・キリストの恵みが、  
皆さまと共にありますように！

Atsuko Kudo

